

# つづることを通して、仲間と思いを 交流・共有する

高等学校

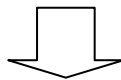
目的 他者の文章にふれ、その思いや考えを理解することの重要性に気づく。  
自分の思いをつづり、表出することの大切さを認識する。  
交流することを通して他者の思いを知り、仲間づくりの契機とする。

## 気づく

### 日々の思いをつづった文章にふれてみよう

文章をつづることを通して思いを交流している実践にふれ、自己の思いを表出することの意味を考える。  
さまざまな文章にふれ、それを書いた人の心情やくらしの姿に思いをめぐらせる。  
文章の中で印象に残ったものを紹介し、その理由やそれに触発されて考えたことなどを交流する。

日常の学校生活や高校生の思い等を紹介した書籍  
生徒の進行による全体交流会、班別交流など

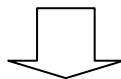


## 広げる・深める

### 自分の思いや考えを文章化する

ありのままの自分の思いを率直につづる。

紙面による交流が思いを出しやすいことをふまえ、このあと紙面で交流することを予め知らせる。  
文章を無記名でまとめる。

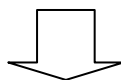


## 計画する・実践する

### つづられた文章を紙面で交流する

それぞれの文章を通して、そこにこめられた思いを理解するように努める。

資料を全員に配布し、思いを共有する。



## 振り返る

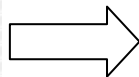
# さらに自分が感じたことを発表しあい、交流を深めよう

紙面でのやりとりを通して、自分が交流したクラスの友だちについての思いをまとめる。  
それぞれの文章に表現された思いを理解するとともに、クラスの友だちへの思いを表現する。

紙面交流から得られた気づきや感想をさらに文章化し、まとめる。まとめられた文章を発表する。

### <参考例> 紙面交流の一例

この前、ある人に「年のわりに、気遣いすぎだ」と言われてしまった。なんか、心をグサッとさされた感じだった。気を遣いすぎるということは、自分のことより人のことを考えられることで、いいことだと思い続けていた私にとって、とても衝撃的な言葉であった。気を遣うことは自分を抑えてしまうことで、いけないことなのだろうか。



「年のわりには気を遣いすぎだ」と言われた人へ。

私も、つい最近、親にそんなことを言われました。たしかに気を遣うというのは、周りをよく見ていて頼れる感じに思われるでしょう。しかし、それも度が過ぎると、自分を抑えて守っているように思われてしまいます。だから、その時、その場で臨機応変に気を遣い、自己主張を言えるような人になるのもいいなあと思うのです。



### 【学習を進めるにあたって】

- ・文章の巧拙にあまりとらわれることなく、思いの表出に力点をおくようにする。
- ・このプログラムでは、最後に「みんなの前で口頭で発表する」というかたちをとっているが、思いの出しやすさを考慮し「紙面交流」でとどめておく、という方法も考えられる。
- ・自分の思いを言葉にし、そのことを通して他者理解をすすめる。また、日常的なコミュニケーションも共感的に行えるよう支援していくことが大切である。